

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年2月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|---|-------|-------|
| 1 | <p>【2号機燃料取替準備用ダスト放射線モニタch. 5の流量異常の警報発生について】</p> <p>当直員が、2号機燃料取替準備用に配備の2号機西側構台設備ダスト放射線モニタコンテナ内の監視モニタに、「2号機燃料取替準備DRM ch. 5南西流量異常(低)」の警報発生を確認。</p> <p>調査の結果、バックグラウンド測定前後で当該ダスト放射線モニタch. 5の流量は、定格流量程度の51L/min(警報設定値40L/min)流れており、運転状態に異常はなく、バックグラウンド測定は実施できていることを確認。</p> <p>監視モニタのトレンドを確認した結果、当該ダスト放射線モニタch. 5がバックグラウンド測定に入るタイミング(2時間に1回)で、当該警報が発生したものと推定。</p> <p>当該警報がバックグラウンド中のみで発報することから、バックグラウンド測定用ダストホルダのフィルタにゴミが詰まったことが原因と推定。</p> <p>通常のダストモニタ測定は、当該バックグラウンド測定用とは違うラインで構成されているため、ダスト放射線モニタそのものの運転状態に問題なし。</p> <p>なお、その他のch. 1~4について、流量および運転状態に異常なしを確認。</p> <p>その後、バックグラウンド測定用ダストホルダのフィルタの交換を行い、継続監視中。</p> | G III | 1月29日 |
| 2 | <p>【雑固体廃棄物焼却設備の空調用冷凍機故障の警報発生について】</p> <p>当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に、雑固体廃棄物焼却設備の空調用冷凍機故障の警報発生を確認。</p> <p>現場確認の結果、雑固体廃棄物焼却建屋の屋上に設置の空調用冷凍機(B-4)において、故障を示す「冷媒漏れor高圧圧力センサ異常値」の表示を確認。</p> <p>調査に伴い当該冷凍機を停止し、冷媒圧力値を確認した結果、高圧および低圧ともにゼロであったことから、圧力検出計器の異常ではなく冷媒漏えいと判断し、関係機関に報告済み。</p> <p>他7台の空調用冷凍機の圧力値に異常はなく、予備機に裕度があるため換気空調設備の運転に問題なし。</p> <p>なお、空調用冷凍機の停止による当該焼却設備の起動、運転においても影響なし。</p> <p>今後、漏えい箇所の調査により修理方法の検討を行い、原因調査および再発防止対策を検討。</p> | G III | 2月2日 |
| 3 | <p>【管理型産業廃棄物最終処分場管理棟における火災報知器の発報について】</p> <p>2021年2月1日 管理型産業廃棄物最終処分場管理棟(産廃管理棟※)の火災報知器の発報を、正門警備所および入退域管理棟警備室で確認。</p> <p>当直員および自衛消防隊出向による現場確認の結果、火煙なしを確認。</p> <p>その後、富岡消防署にて火煙がないことから、「非火災報」と判断。</p> <p>調査の結果、産廃管理棟から正門警備所受信機までの通信ラインの一過性の不良と推定。</p> <p>なお、当該火災報知器は、現在正常な状態で使用可能であり、監視上問題なし。</p> <p>今後、詳細点検の調査を実施し、対応策を検討予定。</p> <p>※ 産廃管理棟：当該設備は旧展望台北側に位置し、震災以前に海生物焼却設備で焼却された焼却灰および煤塵の処分に使用された設備であり、現在は不使用。</p> | G III | 2月1日 |